

昭和女子大学

キャリアデザイン・ポリシーとキャリア科目の体系

学生の皆さんへ

昭和女子大学は、学生の皆さんが、在学中に“キャリア”をデザインする力を養い、卒業後は自分に適した職業に就いて、社会人・職業人として自立した人生を歩めるように、キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）を策定し、キャリア教育を推進しています。

“キャリア”は、卒業後の就職に止まるものではありません。“キャリアデザイン”は、あなたの長い人生をどのように生きていくか、その中心に職業・就業において人生を計画することです。

昭和女子大学

■キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）

1. 本学での学修と実践を通して、継続就業や再就業に係る職業意識・職業観を磨き、長い生涯にわたる自分の生き方を設計するキャリアデザイン力を養う。
2. 学科の「キャリアデザイン・ポリシー」に基づき、「専門教育科目」を体系的に履修することによって、その特性を活かした職業・就業分野で社会的に自立できる職業人を育成する。
3. 国際的な視野と豊かな教養、職業上の倫理観を身につけ、自立した人間として21世紀の男女共同参画社会を担う人材を育成する。

■キャリア科目の体系

本学における「キャリア科目」は、「キャリアコア科目」を含む一般教養科目および各学科の専門教育科目の総体から成り立っています。皆さんは、これらの科目を「キャリアデザイン・ポリシー」に沿って体系的に履修することにより、専門を活かした職業に必要な知識、技能、能力や態度を修得します。

1. 全学共通キャリアコア科目（一般教養科目）

女性として、長い生涯にわたるキャリアをデザインするうえで必要な基礎的知識と方法について学びます。

- ◇「キャリアデザイン入門」（必修）1年前期
 - ◇「女性の生き方と社会」
 - ◇「女性とキャリア形成」
 - ◇「企業と社会のルール」
- （1科目選択必修）2年～3年前期
- （選択）3年・4年後期

2. 一般教養科目：キャリアデザイン・ポリシーと履修の体系

人間や歴史、社会、文化、さらにはそれらを取り巻く環境、自然についての知を拡げ、それによりものの見方、考え方の基盤を築き、自らの視点に立って判断し、行動できる力を身につけます。

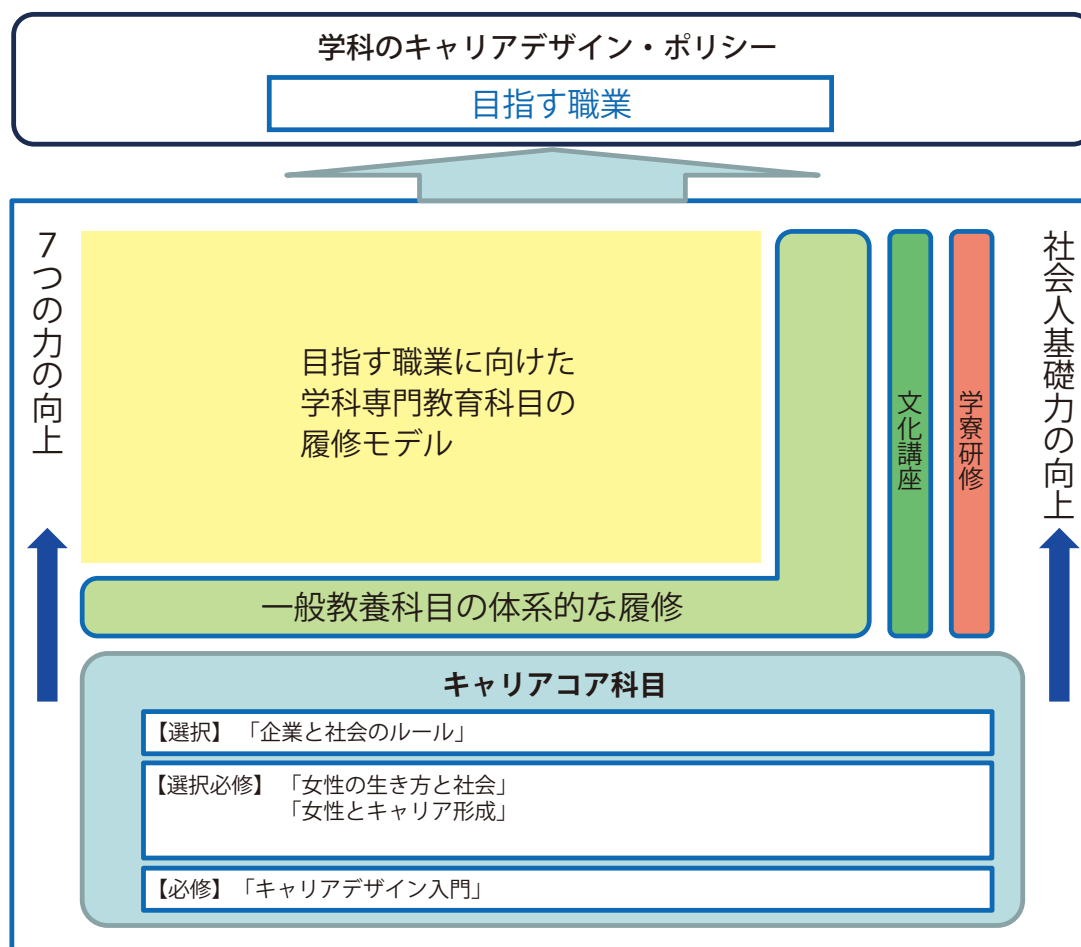
一般教養科目のキャリアデザイン・ポリシーと一般教養の体系については、3～4頁を参照して下さい。

3. 専門教育科目：学科のキャリアデザイン・ポリシーと履修モデル

各学科は、独自のキャリアデザイン・ポリシーを掲げ、専門教育科目の特性を活かした職種・職業（目指す職業）と、それらに就くために適した「履修モデル」を具体的に提示しています。

各学科の「目指す職業と履修モデル」を履修計画の目安として活用して下さい。

目指す職業とキャリア科目の体系



夢を実現する7つの力

大学時代に身につけておきたい力、仕事や生活に必要な力を「夢を実現する7つの力」とし、在学中に身につけ高めておくべき力を具体的に示しています。これらを目指し、持っている力をバランスよく高めていきましょう。

- (1) グローバルに生きる力
- (2) 外国語を使う力
- (3) ITを使いこなす力
- (4) コミュニケーションをとる力
- (5) 問題を発見し目標を設定する力
- (6) 一歩踏み出して行動する力
- (7) 自分を大切にする力

日本語日本文学科

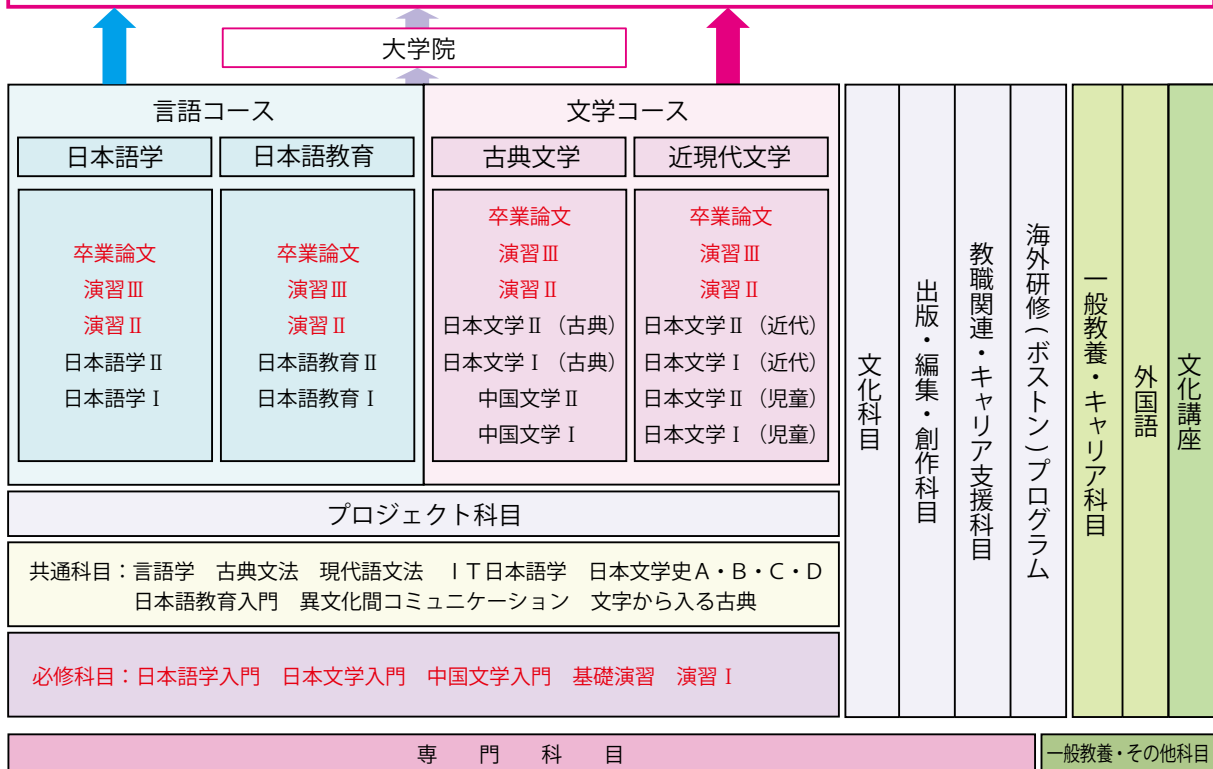
キャリアデザイン・ポリシー

日本の言語文化に対する深い理解と培ったことばの力を通じて、社会の発展に貢献できる人を育成します。

1. 学び得た専門知識と人間に対する理解力・洞察力をもって、教育関係の分野で活躍できる人材を育成する。
2. 日本の文化を理解し、異文化に暮らす人々との相互理解に努め、グローバルに活躍できる日本語教員等を育成する。
3. 社会活動すべての基本となる的確な日本語運用能力をもち、積極的に課題解決に努める職業人を育成する。

■目指す職業とカリキュラムの枠組み

1. 教職(中学・高校国語 高校書道)
2. 司書・司書教諭
3. 日本語教員
4. 学芸員
5. 出版・編集業
6. 的確な日本語運用能力を備えた企業人



日本語日本文学科

■目指す職業と履修モデル

1. 教職 (中学・高校国語 高校書道)					
↑ 大学院					
4年	卒業論文 演習Ⅲ	日本語Ⅱ (現代の語彙・表記) 日本語Ⅱ (文法・実例研究) 日本文学Ⅱ (古典B・D) 日本文学Ⅱ (古典C1) 日本文学Ⅱ (近代A・B・C) 中国文学Ⅱ (A・B)	書道実習Ⅴ	教職実習演習 (中・高) 教育実習 教育実習の指導	
3年	演習Ⅱ	日本語Ⅰ (文学作品の語法) 日本語Ⅰ (ことばと社会) 日本語Ⅱ (世界の中の日本語) 日本文学Ⅰ (古典A～D) 日本文学Ⅰ (近代A) 中国文学Ⅰ	国語科教育法 A 書道科教育法 日本の書芸 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅳ	教育課程論 道徳教育の理論と方法 教職課程特講 教育行政学 教育法規 特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法 教育方法論 生徒指導・進路指導の理論と方法 特別支援教育の理論 教育相談の理論と方法 介護等体験の指導	
2年	中国文学入門 演習Ⅰ	古典文法 現代語文法 日本文学史 A・B・C	書道実習Ⅱ 書道史 国語科教育法 B 日本語Ⅰ (パソコン日本語学入門) 日本語Ⅰ (日本語研究とコンピュータ)	歌ことば歌ごころ 古典と昔語り 有職故実 日本の演劇 書誌学	
1年	日本語学入門 日本文学入門 基礎演習	書道実習Ⅰ ICT 機器の操作		教職概論 教育原理 教育心理学 体育実技 法学 A・B (日本国憲法)	
必修科目		教職履修者推奨科目	教職関連科目	文化・その他科目	教職科目
専 門 科 目					
一般教養・外国語・文化講座					

所定の単位を修得すると、教員免許状を取得できます。学科の専門科目の中で、必修の科目、教職を履修する人に対する推奨科目があります。また、教職科目を履修する必要があります。

□記載されている科目をすべてこのとおり履修する必要はありません。学生便覧および履修ガイダンス等を参照のこと。

2. 司書・司書教諭					
★文学コース/近現代文学を学んだ場合					
4年	卒業論文 演習Ⅲ	日本文学Ⅱ (近代C)	プロジェクト B		
3年	演習Ⅱ	日本文学Ⅱ (古典D2) 日本文学Ⅱ (近代A・B) 日本文学Ⅱ (児童A・B) 中国文学Ⅱ (中国A)	サブカルチャー論	図書館制度・経営論 他選択科目2科目 (図書・図書館史(他))	
2年	中国文学入門 演習Ⅰ	現代文化論 世界の中の日本文学 日本思想史	情報サービス演習 A・B 情報資源組織演習 A・B 図書館情報資源概論 図書館情報技術論 児童サービス論	情報メディアの活用 学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館	
1年	日本語学入門 日本文学入門 基礎演習	現代語文法 I T日本語学 日本文学史 A・C 日本文学Ⅰ (近代A) 日本文学Ⅰ (児童A)	創作B (俳句・短歌)	読書と豊かな人間性 学校図書館メディアの構成	
必修科目		コース選択科目	文化・その他科目	司書科目	司書教諭科目
専 門 科 目					
一般教養科目・外国語科目・その他					

図書館司書科目 (司書)、教職科目 (司書教諭) を履修する必要があります。

1年生からの履修が可能ですが、原則として2年生からの履修を勧めます。

司書教諭をめざす場合は、中学・高校国語の教員免許状取得が前提になります (1. 教職を参照)。

□記載されている科目をすべてこのとおり履修する必要はありません。学生便覧を参照の上履修ガイダンスに出席すること。

日本語日本文学科

3. 日本語教員

★言語コース/日本語教育を学んだ場合 (主専攻)

4年	卒業論文 演習Ⅲ	日本語教育 (日本語教育特論(2)教育)	日本文学Ⅱ (古典D)	プロジェクトA	一般教養・外国語・文化講座	
3年	演習Ⅱ	日本語教育Ⅱ (作文・読解とその指導) 日本語教育Ⅱ (コースデザインと評価) 日本語教育 (日本語教育特論(1)言語)	日本語学Ⅱ (現代の語彙・表記) 日本語学Ⅱ (世界の中の日本語)	サブカルチャー論 日本の演劇		
2年	中国文学入門 演習Ⅰ	日本語教育Ⅰ (外国語教授法) 日本語教育Ⅰ (第二言語習得論)	日本語学Ⅱ(日本社会と日本語教育) 日本語学Ⅱ(多文化教育・バイリンガリズム) 日本語学Ⅱ(音声と音声指導) 日本語学Ⅱ(文法と文法指導) 日本語学Ⅱ(聴解・会話とその指導) 日本語学Ⅱ(日本語指導実践(1)入門) 日本語学Ⅱ(対照言語(日英))	日本語学Ⅰ (音声と音韻) 日本語学Ⅰ (ことばと社会) 日本文学Ⅰ(近代A) 中国文学Ⅰ		秋期ポストン15選科目** Teaching about Japan 他 春期ポストン15選科目** Culture of Americas 他
1年	日本語学入門 日本文学入門 基礎演習	日本語教育入門 異文化間コミュニケーション	日本語教育Ⅰ(社会言語学) 日本語教育Ⅰ(日本語文法論) 日本語教育Ⅰ(会話データの分析) 日本語教育Ⅰ(文字と文字指導) 日本語教育Ⅰ(日本語教育教材)	言語学 現代語文法 日本文学史B・C		Examining Japanese Culture, Old and New
必修科目		日本語教員主専攻・副専攻科目*		コース選択科目	文化・その他科目	海外研修プログラム**
専 門 科 目						教養

所定の単位を修得すると、認定証が発行されます。就職対策として、「日本語教育能力検定試験」合格も目標にするといでしょう。

*日本語教育科目は、「主専攻(45単位)」あるいは「副専攻(26単位)」として学ぶことができます。

**海外研修プログラムのうち、昭和ポストンに留学する海外研修プログラム「春期・秋期ポストン15週」に参加すると、ポストンで専門科目を学ぶこともできます。また、海外協定大学の認定留学にも挑戦するといでしょう。

□記載されている科目をすべてこのとおり履修する必要はありません。学生便覧および履修ガイダンス資料を参照のこと。

4. 学芸員

★文学コース/古典文学を学んだ場合

4年	卒業論文 演習Ⅲ	日本文学Ⅱ(古典A)	*印:学芸員資格 選択科目	博物館実習Ⅲ 館務実習	一般教養・外国語・文化講座
3年	演習Ⅱ	日本文学Ⅱ(古典B) 日本文学Ⅱ(古典C) 日本文学Ⅱ(古典D) 日本文学Ⅱ(近代A)	プロジェクトA 世界の中の日本文学 日本の演劇	博物館実習Ⅰ・Ⅱ 古文書解読	
2年	中国文学入門 演習Ⅰ	日本語学Ⅰ(文学作品の語法) 日本語学Ⅰ(ことばと社会) 日本文学Ⅰ(古典A) 日本文学Ⅰ(古典B) 日本文学Ⅰ(古典C) 日本文学Ⅰ(古典D) 中国文学Ⅰ	古典と昔語り 有職故実 史料解読* 日本民俗学	博物館経営論 博物館資料保存論 生涯学習概論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 考古学概論 東洋美術史概説 日本美術史概論	
1年	日本語学入門 日本文学入門 基礎演習	古典文法 日本文学史A・B 文字から入る古典	実践的文章論 (編集の基礎)	博物館概論 博物館教育論 博物館資料論 民俗学概論 服飾史資料基礎 日本史A・B 考古学(日本の遺跡)	
必修科目		コース選択科目	文化・その他科目	学芸員資格科目(赤字は必修科目)	
専 門 科 目					他学科開設・一般教養・外国語科目

学芸員資格を取得するための科目を履修する必要があります。

□記載されている科目をすべてこのとおり履修する必要はありません。学生便覧および履修ガイダンス等を参照のこと。

日本語日本文学科

5. 出版・編集業

★文学コース／近現代文学を学んだ場合

4年	卒業論文 演習Ⅲ	日本文学Ⅱ（近代C）	プロジェクトA		一般教養・外国語・文化講座
3年	演習Ⅱ	日本文学Ⅱ（古典D） 日本文学Ⅱ（近代A・B） 日本文学Ⅱ（近代B） 日本文学Ⅱ（中国A）	サブカルチャー論 世界の中の日本文学 史料解説	創作A （エッセイ・シナリオ）	
2年	中国文学入門 演習Ⅰ	日本語学Ⅰ（文学作品の語法） 日本語学Ⅰ（ことばと社会） 日本文学Ⅰ（古典D） 日本文学Ⅰ（近代B・C） 日本文学Ⅰ（児童A・B）	メディア論 現代文化論 （ポップカルチャー） 書誌学	実践的文章論 （編集の基礎） 創作B （俳句・短歌）	
1年	日本語学入門 日本文学入門 基礎演習	現代語文法 ⅠT日本語学 日本文学史A・C 日本文学Ⅰ（近代A）		実践的文章論 （入門編）	
必修科目		コース選択科目	文化・その他科目	出版・編集・創作	
専 門 科 目					教養

❗記載されている科目をすべてこのとおり履修する必要はありません。学生便覧および履修ガイダンス等を参照のこと。

6. 的確な日本語運用能力をそなえた企業人

★言語コース／日本語学を学んだ場合

4年	卒業論文 演習Ⅲ	日本語学Ⅱ （現代の語彙・表記）	プロジェクトB		一般教養・外国語・文化講座
3年	演習Ⅱ	日本語学Ⅱ（調査研究） 日本語学Ⅱ（世界の中の日本語） 日本語学Ⅱ（文法・実例研究） 日本文学Ⅱ（古典A）	メディア論 世界の中の日本文学 日本思想史	創作B（俳句・短歌） 春期ボストン15週科目* Culture of Americas 他	
2年	中国文学入門 演習Ⅰ	日本語学Ⅰ（音声と音韻） 日本語学Ⅰ（文学作品の語法） 日本語教育Ⅰ（社会言語学） 日本文学Ⅰ（古典A） 日本文学Ⅰ（近代B）	プロジェクトA サブカルチャー論 日本の演劇	実践的文章論 （編集の基礎） 創作A （エッセイ・シナリオ）	
1年	日本語学入門 日本文学入門 基礎演習	現代語文法 ⅠT日本語学 異文化間コミュニケーション 日本文学史A・B		実践的文章論 （入門編）	
必修科目		コース選択科目	文化・その他科目	出版・編集・創作 その他	
専 門 科 目					教養

*海外研修プログラムのうち、昭和ボストンに留学する海外研修プログラム「春期・秋期ボストン15週」に参加すると、ボストンで専門科目を学ぶこともできます。

❗記載されている科目をすべてこのとおり履修する必要はありません。学生便覧および履修ガイダンス等を参照のこと。